

P.B.5818 – Patentlaan 2 2280 HV Rijswijk (ZH) 2 +31 70 340 2040 TX 31651 epo nl FAX +31 70 340 3016 Europäisches Patentamt

Zweigstelle in Den Haag Recherchenabteilung European Patent Office

Branch at The Hague Search division Office européen des brevets

Département à La Haye Division de la recherche

Paget, Hugh Charles Edward
MEWBURN ELLIS
York House
23 Kingsway
London WC2B 6HP
GRANDE BRETAGNE

S [15-00-1/10]

Datum/Date 06 . 11 . 01

Zeichen/Flef./Réf

HP/FP5896873

Anmeldung Nr./Application No./Demande n°./Patent Nr./Patent No./Brevet n°.

00929892.8-2104-JP0003420

Anmelder Applicant/Demandeur/Patentinhaber/Proprietor/Titulaire NGK INSULATORS, LTD.

COMMUNICATION

The European Patent Office herewith transmits as an enclosure the European search report for the above—mentioned European patent application.

If applicable, copies of the documents cited in the European search report are attached.

Additional set(s) of copies of the documents cited in the European search report is (are) enclosed as well.

REFUND OF THE SEARCH FEE

If applicable under Article 10 Rules relating to fees, a separate communication from the Receiving Section on the refund of the search fee will be sent later.



		r	à	ı	, , a
		i			
·					

5117-17-61

拒絕理由通知書

特許出願の番号

平成11年 特許願 第151836号

起案日

1

平成14年 9月20日

特許庁審査官

亀田 貴志

9719 3T00

特許出願人代理人

渡邉 一平 様

適用条文

第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において 頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属 する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができた ものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができな い。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項1、6
- ・引用文献等1、2、3、4
- ・備考

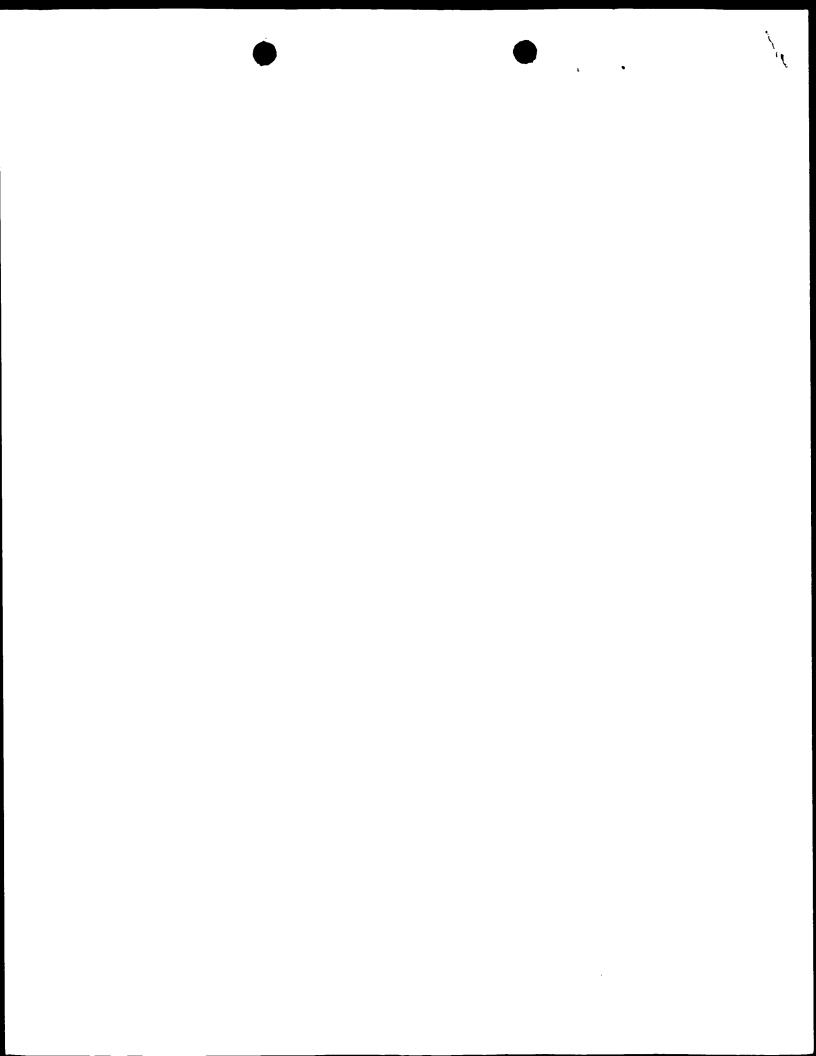
引用文献1には、ハニカム構造体を、ケース内に保持材で固定させてなるキャニング構造体の発明が記載されている。

引用文献2 (第1欄第2行~第8行)、引用文献3 (第3欄第35行~第38行)及び引用文献4 (第3欄第17行~第19行)には、触媒担持前に担体をケース内に保持することが記載されている。

- ・請求項2、3、4、5
- ・引用文献等1、2、3、4
- ・備考

上記請求項1についての備考に加えて、隔壁厚さを設定すること、押し込み構造、ないし巻締め構造を採用することは適宜なしうるものである。

引用文献等一覧



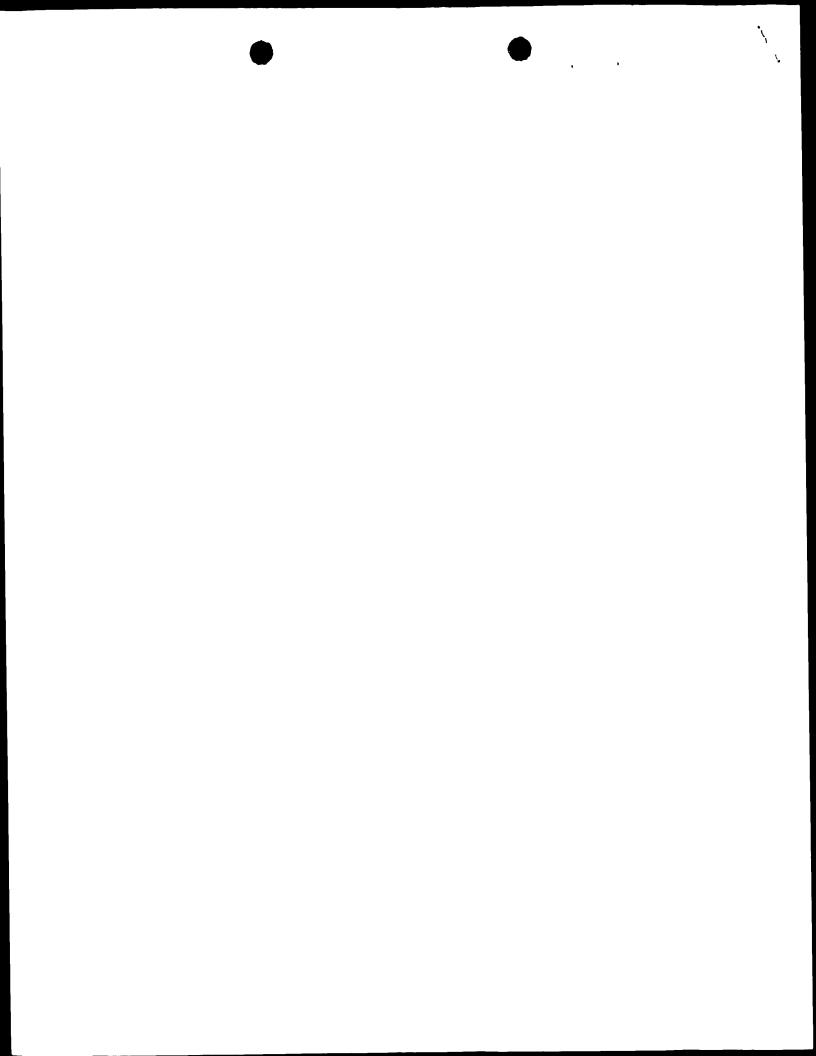
- 1. 特開平9-228829号公報
- 2. 特開平6-254409号公報
- 3. 特開平8-89815号公報
- 4. 特開平10-29077号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 F01N 3/
- ・先行技術文献 特開平1-280614

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由について問い合わせがあるときは、審査第二部原動機・流体機械 亀田貴志 (TEL 03-3501-4914 内線3355) までご連絡下さい。





SUPPLEMENTARY EUROPEAN SEARCH REPORT

Application Number EP 00 92 9892

Category	Citation of document with i	Relevant	CLASSIFICATION OF THE	
Jalegory	of relevant pas		to claim	APPLICATION (Int.C1.7)
E	EP 1 020 621 A (NGK 19 July 2000 (2000- * paragraphs '0004!-'0007!,'0009 '0021!,'0028!,'0034 * figures *	07-19) !-'0011!,'0015!,'0017!-	1-7	B01J35/04 F01N3/28 B01D53/92
Ρ,Χ	EP 0 947 673 A (NGK 6 October 1999 (199 * paragraphs '0002!,'0004!,'0005 '0027!,'0028!,'0030 * claims 1,6-8 *	9-10-06) !,'0011!,'0020!,'0025!,	1,4,6,7	
X	EP 0 859 133 A (COR 19 August 1998 (199 * column 3, line 29 * column 4, line 41 * column 5, line 36 * column 6, line 45 * column 6, line 45 * claims; figures *	8-08-19) - line 40 * - line 48 * - line 40 * - line 30 * - column 7, line 19 *	1,5-7	TECHNICAL FIELDS SEARCHED (Int.Cl.7)
Y	* column 6, line 44		2-4	B01J F01N
X	US 4 093 423 A (NEL 6 June 1978 (1978-0) * column 1, line 27 * column 2, line 12 * column 3, line 15 * column 4, line 10 * claims; figures *	6-06) - line 30 * - line 24 * - line 22 * - column 6, line 18 *	1,4-7	BOID
Y Y	* column 1, line 27		2,3	
	The supplementary search reposet of claims valid and available	rt has been based on the last at the start of the search.		
	Place of search MUNICH	Date of completion of the search 29 October 2001	Coo	Examiner D
X : part Y : part docu A : tech O : non	ATEGORY OF CITED DOCUMENTS icularly relevant if taken alone icularly relevant if combined with anotument of the same category inological background—written disclosure rmediate document	T : theory or principl E : earlier patent do after the filling da	e underlying the cument, but publi te n the application or other reasons	ished on, or

1

		f r		, ,	1
	,				
			,		



SUPPLEMENTARY EUROPEAN SEARCH REPORT

Application Number EP 00 92 9892

Category	Citation of document with indication of relevant passages	on, where appropriate,	Relevant to claim	CLASSIFICATION OF THE APPLICATION (Int.Ci.7)
X	JP 09 317455 A (IBIDEN 9 December 1997 (1997-1 * paragraphs '0005!,'0007!-'0009!,'0	2-09)	1,5-7	
Y	* claims; figures * EP 0 807 466 A (NGK INS 19 November 1997 (1997- * column 1, line 5-11 * * column 2, line 58 - c * claims *	11-19)	2,3	
		-		
				TECHNICAL FIELDS SEARCHED (Int.C1.7)
	The supplementary search report has best of claims valid and available at the	een based on the last start of the search.		
	Place of search	Date of completion of the search	į	Examiner
X : parti Y : parti docu	MUNICH ATEGORY OF CITED DOCUMENTS icularly relevant if taken alone icularly relevant if combined with another iment of the same category nological background	E : earlier pater after the filin D : document ci L : document ci	nciple underlying the interpretation of the comment, but public grade led in the application led for other reasons	selin, D nvention shed on, or

	 			a)
	4.	r	• ,	
				•

:

ANNEX TO THE EUROPEAN SEARCH REPORT ON EUROPEAN PATENT APPLICATION NO.

EP 00 92 9892

This annex lists the patent family members relating to the patent documents cited in the above-mentioned European search report. The members are as contained in the European Patent Office EDP file on The European Patent Office is in no way liable for these particulars which are merely given for the purpose of information.

29-10-2001

	Patent documen cited in search rep		Publication date		Patent family member(s)	Publication date
EP	1020621	Α	19-07-2000	JP EP	2000204938 A 1020621 A2	25-07-2000 19-07-2000
EP	0947673	A	06-10-1999	JP EP US	11280459 A 0947673 A2 6242071 B1	12-10-1999 06-10-1999 05-06-2001
EP	0859133	Α	19-08-1998	CN EP JP	1190695 A 0859133 A1 10339132 A	19-08-1998 19-08-1998 22-12-1998
US	4093423	А	06-06-1978	DE DE DE JP JP	2248442 A1 2259817 A1 2319663 A1 1178992 C 49072173 A 58007806 B	11-04-1974 12-06-1974 14-11-1974 30-11-1983 12-07-1974 12-02-1983
JΡ	09317455	Α	09-12-1997	NONE		
EP	0807466	A	19-11-1997	JP CA EP US	9299811 A 2205682 A1 0807466 A2 5895700 A	25-11-1997 17-11-1997 19-11-1997 20-04-1999

	5 .	T		٠,	•1
			·		

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2000 年12 月7 日 (07.12.2000)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 00/73637 A1

(51) 国際特許分類7:

F01N 3/28, B01J 35/04

(21) 国際出願番号:

PCT/JP00/03420

(22) 国際出願日:

2000年5月29日(29.05.2000)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願平11/151836 1999年5月31日(31.05.1999) Ji

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本 碍子株式会社 (NGK INSULATORS, LTD.) [JP/JP]; 〒 467-8530 愛知県名古屋市瑞穂区須田町2番56号 Aichi (JP). (72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 *(*米国についてのみ*)*: 山田敏雄 (YA-MADA, Toshio) [JP/JP]. 土方俊彦 (HIJIKATA, Toshi-hiko) [JP/JP]; 〒467-8530 愛知県名古屋市瑞穂区須田町2番56号 日本碍子株式会社内 Aichi (JP).

(74) 代理人: 渡邉一平(WATANABE, Kauzhira); 〒111-0053 東京都台東区浅草橋3丁目20番18号 第8菊星 タワービル3階 Tokyo (JP).

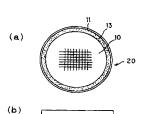
(81) 指定国 (国内): CA, US.

(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE).

/続葉有/

(54) Title: CANNING STRUCTURAL BODY AND METHOD OF MANUFACTURING CATALYTIC CONVERTER USING THE STRUCTURAL BODY

(54) 発明の名称: キャニング構造体及び同構造体を使用した触媒コンバータの製造方法

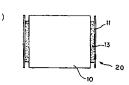


(57) Abstract: A canning structural body capable of preventing a ceramic honeycomb structural body from being chipped or cracked in transport process, catalyst carrying process, canning process, and at the time of handling in each process without deteriorating the characteristics of the ceramic honeycomb structural body by fixing the ceramic honeycomb structural body (10) before carrying catalyst through a holding material (13) inside a metal case (11) beforehand.

(57) 要約:

RECEIVED
APR 25 2001





触媒担持前のセラミックハニカム構造体 (10) を、予めメタルケース (11) 内に保持材 (13) で固定されることにより、セラミック製ハニカム構造体の特性を落とすことなく、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程のハンドリング時におけるセラミック製ハニカム構造体の欠けや割れを防止することができるキャニング構造体の提供。

10 00/73637 A1

WO 00/73637 A1



添付公開書類:

一 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明細書

キャニング構造体及び同構造体を使用した触媒コンバータの製造方法

技術分野

本発明は、内燃機関等から排出される有害燃焼ガス浄化装置である触媒コンバータに用いるキャニング構造体に関し、更に詳細には、触媒担持前のセラミック製ハニカム構造体を、予めメタルケース内に保持材で固定させてなるキャニング構造体及び同キャニング構造体を用いたセラミック製触媒コンバータの製造方法に関する。

背景技術

現在、セラミック製ハニカム触媒コンバータは、自動車用排ガス浄化装置として広く使用されている。

近年の環境問題から、より一層の排ガス規制強化に伴い、エンジン始動直後の 排ガス温度の低い、いわゆるコールドスタート時においても触媒を機能させる必 要に迫られている。

このため、従来の触媒担体であるセラミック製ハニカム体における周セル壁の壁厚は、通常 0.1 mm以上、より具体的には 0.1 6 mm以上のものが使用されていたが、触媒担体であるセラミック製ハニカム構造体の熱容量を下げ、触媒担体の昇温を早めるとともに、圧力損失によるエンジン性能の低下を防ぐことために、最近、セラミック製ハニカム構造体におけるセル壁の壁厚を従来の 1/2 ~1/6まで薄くしたものが採用されるようになっている。

通常、セラミック製ハニカム構造体を触媒担体として製造されるセラミック製 ハニカム触媒コンバータは、図5に示すような工程を経て製造される。

例えば、セラミック製ハニカム触媒コンバータが複数の機能を異にするメーカーの共同作業で製造される場合には、まず、担体であるセラミック製ハニカム構造体を製造する担体メーカは、検査、合格したセラミック担体10、即ち、セラミック製ハニカム構造体を梱包し、触媒メーカへ輸送する。

4 6 1 N

触媒メーカは、これを解梱し、セラミック担体10に、所望とする触媒をコートして触媒を担持させ、熱処理、検査等の工程を行い、触媒担体25、即ち、セラミック製ハニカム触媒担体とした後、梱包し、キャニングメーカへ輸送する。

キャニングメーカは、これを解梱し、触媒担体25に保持材13を取り付け、メタルケース11内に圧縮固定、即ち、キャニングすることにより、キャニング 触媒担体30とした後、キャニング触媒担体30にコーン部17及びフランジ18等の接合部材を溶接することにより、例えば、図4に示したような触媒コンバータ、即ち、セラミック製ハニカム触媒コンバータとして完成させる。

しかし、上記のセラミック担体として、セル壁の壁厚が従来の1/2~1/6 程度の厚さとしたセラミック製ハニカム構造体を用いた場合、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程のハンドリング時、例えば、梱包、解梱、コンベアー、チャッキング、キャニング等の機械設備への積み卸し作業等におけるセラミック製ハニカム構造体の割れや欠けが多発するという問題が発生した。

例えば、上記に示す製造プロセスの全工程におけるセラミック製ハニカム構造体の割れや欠けの発生率は、従来の代表的なセラミック製ハニカム構造体であるセル壁の壁厚が 0.17mm、貫通孔が 62個/cm²のものを用いた場合、1%以下であるのに対して、セル壁の厚さを従来の1/2~1/6程度の厚さとした薄壁のセラミック製ハニカム構造体であるセル壁の壁厚が 0.06mm、貫通孔が140個/cm²のものを用いた場合、20数%と急激に上昇するという問題が判明した。

これを解消するため、セラミック製ハニカム構造体の外周部又は外周部及び外周部近傍のセル壁、即ち、ハニカム担体の最外周壁又はこれに接するセル壁およびその近傍に位置するセル壁を選択的に厚くすることが現在行われているが、この様な構成を採用することにより、セラミック製ハニカム構造体の耐熱衝撃性が大幅に低下するだけでなく、厚くしたセル壁に接するハニカム構造体のセル部分の壁が変形し、セラミック製ハニカム構造体のアイソスタティク強度が大幅に低下してしまうという問題があった。

発明の開示

本発明は、かかる状況に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、 セラミック製ハニカム構造体の特性を落とすことなく、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程のハンドリング時におけるセラミック製ハニカム構造体の欠けや割れを防止することができるキャニング構造体を提供することにある。

即ち、本発明によれば、触媒担持前のセラミック製ハニカム構造体、メタルケース、及び保持材とから構成され、前記セラミック製ハニカム構造体を前記メタルケースに収納したキャニング構造体において、前記セラミック製ハニカム構造体を予めメタルケース内に保持材で固定させてなるキャニング構造体が提供される。

特に、セラミック製ハニカム構造体のセル壁の壁厚が、0.10mm未満であるキャニング構造体、より好ましくは、セラミック製ハニカム構造体のセル壁の壁厚が、0.08mm以下であるキャニング構造体が提供される。

更に、上記保持材が、非膨脹性セラミック繊維マットであるキャニング構造体 が提供される。

更にまた、上記キャニング構造体を用いたセラミック製触媒コンバータを製造 する方法が提供される。

図面の簡単な説明

図1 (a)、(b)、(c)は、本発明に係るキャニング構造体の一例を示すものであり、図1 (a)は、正面図、図1 (b)は、側面図、図1 (c)は、横断面図である。

図2(a)、(b)、(c)は、本発明に係るキャニング構造体の他の例を示すものであり、図2(a)は、正面図、図2(b)は、側面図、図2(c)は、横断面図である。

図3は、本発明に係るキャニング構造体を用いたセラミック製ハニカム触媒コンバータの製造プロセスの概要図である。

図4は、セラミック製ハニカム触媒コンバータの一例を示す概略説明図である。 図5は、従来のセラミック製ハニカム触媒コンバータの製造プロセスを示す概 要図である。

発明を実施するための最良の形態

本発明の第1の側面であるキャニング構造体は、触媒担持前のセラミック製ハニカム構造体を、予めメタルケース内に保持材で固定させてなるものである。

これにより、セラミック製ハニカム構造体の特性を落とすことなく、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程のハンドリング時における、セル壁の壁厚が従来のものと比較して、約1/2~1/6程度の厚さである薄壁のセラミック製ハニカム構造体の欠けや割れを防止することができる。

更に、本発明の第二の側面である上記キャニング構造体を使用したセラミック 製ハニカム触媒コンバータの製造方法によれば、セラミック製ハニカム構造体の 特性を落とすことなく、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程のハン ドリング時における、セル壁の壁厚が従来のものと比較して、約1/2~1/6 程度の厚さである薄壁のセラミック製ハニカム構造体の欠けや割れを防止しつつ、 セラミック製ハニカム触媒コンバータを製造することができる。

以下、図面に基づき本発明を更に詳細に説明する。

図1 (a) \sim (c)、図2 (a) \sim (c) は、本発明のキャニング構造体の一例を示す説明図である。

本発明のキャニング構造体は、図1 (a) \sim (c)、図2 (a) \sim (c) に示すように、触媒担持前であって、セル壁の壁厚が従来のものと比較して、約1/22 \sim 1/6程度の厚さである薄壁のセラミック製ハニカム構造体10を予めメタルケース11内に保持材13で固定させてなるものである。

これにより、本発明のキャニング構造体20は、外部からの衝撃や振動からセラミック製ハニカム構造体10を保護することができるため、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程におけるハンドリング時におけるセラミック製ハニカム構造体10、特に、セル壁の壁厚が0.10mm未満、特に、0.08mm以下であるセラミック製ハニカム構造体の欠けや割れを防止することができる。

また、本発明のキャニング構造体は、セラミック製ハニカム構造体の外周部又は外周部及び外周近傍のセル壁、即ち、ハニカム担体の最外周壁又はこれに接するセル壁およびその近傍に位置するセル壁を厚くする必要が無いため、実装したときのセラミック製ハニカム構造体の耐熱衝撃性及びアイソスタティク強度の低

下問題が生ずることはない。

本発明のキャニング構造体 20は、図 1 (a) \sim (c) に例示したようなメタルケース 11 が押し込み構造又は図 2 (a) \sim (c) に例示したような巻締め構造であることが好ましい。

これは、キャニング時の面圧分布が均一で、エンジン排気ガスのリーク、保持 材の排気ガスによる風食、エンジン振動によるセラミック製ハニカム構造体の遊 動、破損等の信頼性を高くすることができるからである。

特に、図1(a)~(c)に例示したようなメタルケースが同ケースの両端部 14aと14bとで溶接などにより接合させた巻締め構造である場合、面圧分布 が均一であるだけでなく、セラミック製ハニカム構造体の径のバラツキに影響さ れず、一定の面圧でキャニングできるため、本発明において使用される機械的強 度の低いセル壁の壁厚が薄いセラミック製ハニカム構造体には、特に好ましい。

尚、本発明で用いる保持材13は、非膨脹性セラミック繊維マットであること が好ましい。

これは、セラミック製ハニカム構造体の径のバラツキに起因するキャニング時の最大面圧を低くできるだけでなく、加熱時に膨脹マットのような過大な圧力が発生しないため、セル壁の壁厚が従来のものと比較して、約1/2~1/6程度の厚さ、即ち、0.1mm未満、より具体的には、0.08mm~0.02mmの厚さである薄壁のセラミック製ハニカム構造体の破損を防止することができるからである。

ここで、本発明で用いる非膨脹性セラミック繊維マットは、アルミナ、ムライト、炭化珪素、窒化珪素及びジルコニアからなる群より選ばれた少なくとも1種からなり、繊維径が 2μ m以上 6μ m未満であるセラミック繊維から形成され、且つ、室温時に2kg f / c m^2 の初期面圧をかけた後、1000 Cまで昇温した時、少なくとも1kg f / c m^2 の面圧を発生するとともに、触媒コンバータ1の実使用温度範囲内で大きく増減を生じない圧縮特性を有していることが好ましい。

本発明で用いるセラミック製ハニカム構造体のセル壁の壁厚は、0.10mm 未満、より具体的には、0.08mm~0.02mmの厚さであることが好ましい。 この様にセル壁の厚さを薄くすることにより、触媒担体の熱容量を下げ、触媒 担体の昇温を早めることにより、コールドスタート時における触媒の機能を出来 るだけ短時間で発揮させることができると共に、圧力損失によるエンジン性能の 低下を防止することができるからである。

次に、本発明のキャニング構造体を用いたセラミック製ハニカム触媒コンバー タの製造プロセスの概要を図3に基づいて説明する。

分業体制により触媒コンバータを製造する場合には、まず、担体メーカは、検査、合格したセラミック担体10に保持材13を取り付け、メタルケース11内にセラミック担体10を圧縮固定してキャニングを行い、キャニング構造体20とした後、梱包し、触媒メーカへ輸送する。

触媒メーカは、これを解梱し、キャニング構造体20に、触媒を担持し、熱処理、検査等の工程を行い、キャニング触媒担体30とした後、梱包し、キャニングメーカへ輸送する。

キャニングメーカは、これを解梱し、キャニング触媒担体30にコーン部17 及びフランジ18等の接合部材を溶接することにより、図4に模式的に示したセラミック製ハニカム触媒コンバータ、即ち、触媒コンバータ1として完成させる。 勿論、同一の工場又は同一の会社内ですべを行ってもよい。

以上のことから、上記に示したセラミック製ハニカム触媒コンバータの製造方法は、図5に示した従来の製造方法と比較すると、セラミック製ハニカム構造体10を外部からの衝撃や振動から保護することができるため、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程のハンドリング時におけるセラミック製ハニカム構造体10の欠けや割れを大幅に低減できる。

以下、実施例を用いてさらに本発明を詳細に説明するが、本発明はこれらの実 施例に制限されるものではない。

実施例1

直径:106mm、長さ:114mm、周壁の壁厚:0.06mm、貫通孔:140個/cm²のコージェライト製セラミック担体10に、保持材13として、1m²当たり1200gの非膨脹性セラミック繊維マット(三菱化学(株)社製「マフテック(商品名)」)を巻き回した。

保持材13を巻き回したセラミック製ハニカム構造体10を、押し込み用テーパー治具を用いて、内径:114mm、長さ:124mm、厚さ1.5mmのステンレス製押し込みキャニング用缶体11に押し込むことにより、図1(a)~(c)に示すようなキャニング構造体20を作製した。

実施例2~3

それぞれのセラミック製ハニカム構造体10に、保持材13として、1m²当たり1200gの非膨脹性セラミック繊維マット(三菱化学(株)社製「マフテック(商品名)」)を巻き回した。

保持材13を巻き回したセラミック製ハニカム構造体10に、巻締めキャニング装置を用いて、内径:約123mm、長さ:124mm、厚さ1.5mmのステンレス製巻締めキャニング用缶体11を、設計面圧で2kgf/cm²になるように一定の荷重で巻締め、メタルケース端を全長にわたり溶接することにより、図2(a)~(c)に示すようなキャニング構造体20をそれぞれ作製した。

次に、実施例1~3で得られたキャニング構造体を各々20個、合計60個を、 図3に示すセラミック製ハニカム触媒コンバータ1の製造プロセスに流した。

この結果、上記に示す製造プロセスの全工程におけるセラミック製ハニカム構造体の割れや欠けは、全く認められなかった。

比較例

直径:106mm、長さ:114mm、セル壁の壁厚:0.06mm、貫通孔:140個/cm²のコージェライト製セラミック担体1020個を、図5に示すセラミック製ハニカム触媒コンバータ1を押し込みキャニングの製造プロセスにより製造した。

この結果、上記に示す製造プロセスの全工程におけるセラミック製ハニカム構造体の割れや欠けの発生率は、25%に達していた。

実施例1~3は、比較例と比較して、セラミック製ハニカム構造体を外部からの衝撃や振動から保護することができるため、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程のハンドリング時におけるセラミック製ハニカム構造体の欠けや割れを大幅に低減できることが判明した。

産業上の利用可能性

本発明のキャニング構造体は、セラミック製ハニカム構造体の特性を落とすことなく、輸送、触媒担持工程、キャニング工程及び各工程のハンドリング時におけるセラミック製ハニカム構造体の欠けや割れを防止することができるという効果を発揮するものである。従って、産業上の利用可能性が高いといえる。

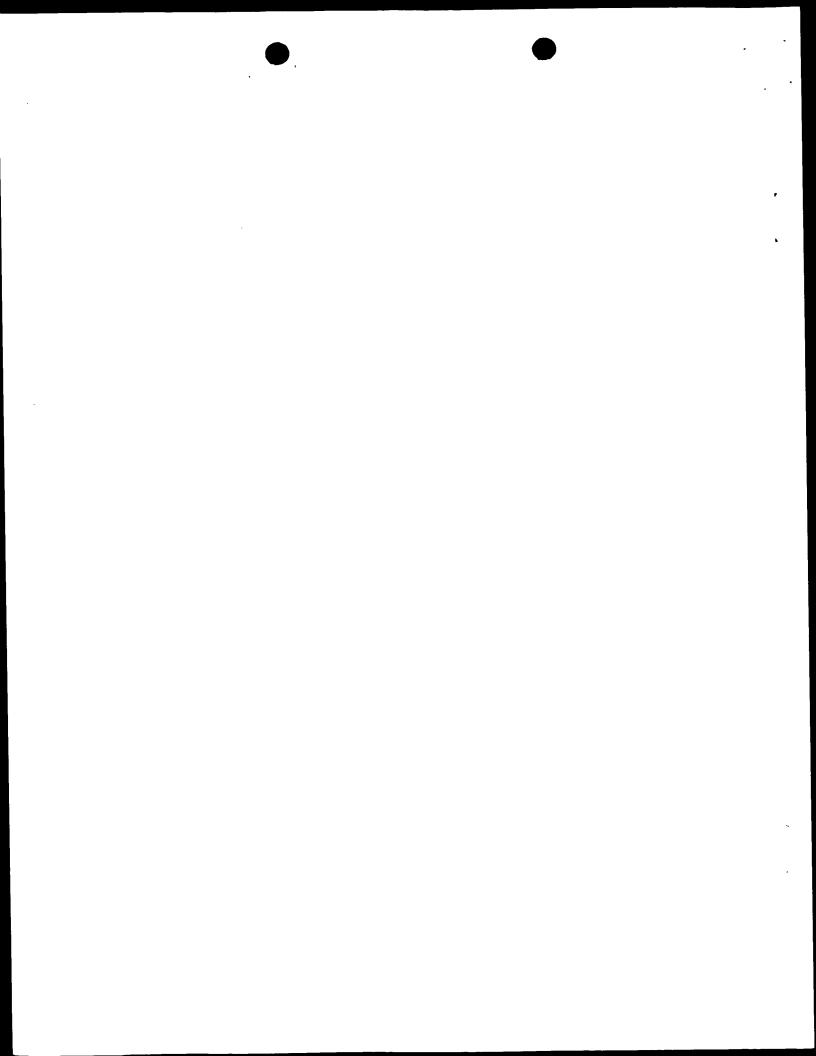
請求の範囲

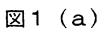
- 1. 触媒担持前のセラミック製ハニカム構造体、メタルケース、及び保持材とから構成され、前記セラミック製ハニカム構造体を前記メタルケースに収納したキャニング構造体において、前記セラミック製ハニカム構造体を予めメタルケース内に保持材で固定させてなるキャニング構造体。
- 2. セラミック製ハニカム構造体のセル壁の壁厚が、0.10mm未満である 請求項1に記載のキャニング構造体。
- 3. セラミック製ハニカム構造体のセル壁の壁厚が、0.08mm以下である 請求項1に記載のキャニング構造体。
- 4. メタルケースが、押し込み構造である請求項1~3のいずれか1項に記載のキャニング構造体。
- 5. メタルケースが、巻締め構造である請求項1~3のいずれか1項に記載の キャニング構造体。
- 6. 保持材が、非膨脹性セラミック繊維マットである請求項1~5のいずれか 1項に記載のキャニング構造体。
- 7. 触媒担持前のセラミック製ハニカム構造体を、メタルケース内に保持材を 介して固定収納し、前記セラミック製ハニカム構造体を予めメタルケース内に保 持材で固定させてなるキャニング構造体を製造する工程と、

前記セラミック製ハニカム構造体に触媒を担持させる工程と

かくして触媒を担持させたキャニング構造体をフランジとコーン部とを装着することからなる

セラミック製触媒コンバータを製造する方法。





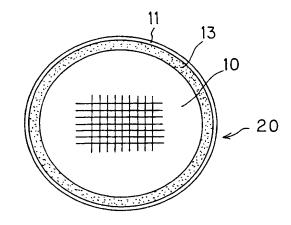


図1 (b)

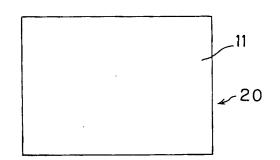
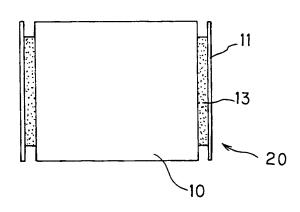
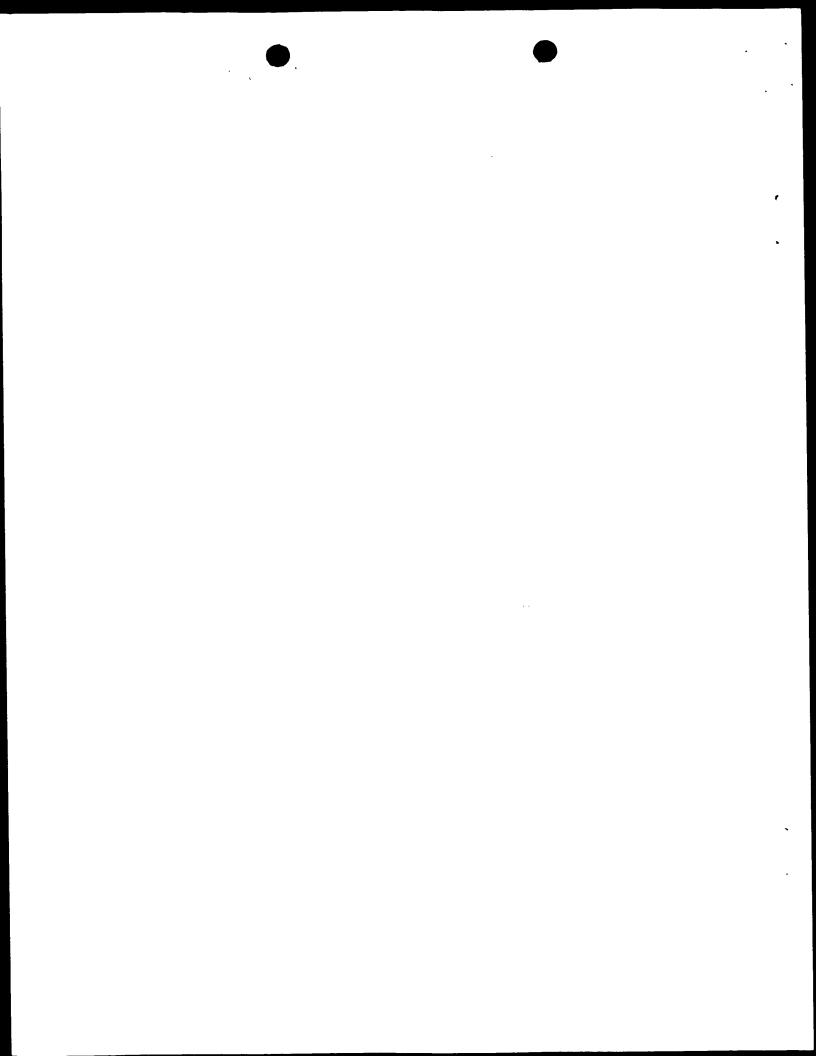
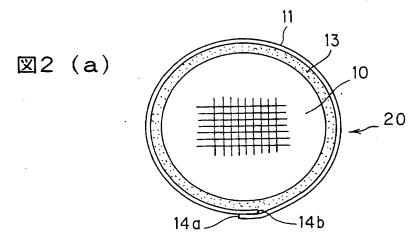
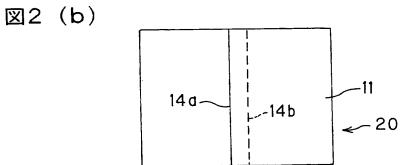


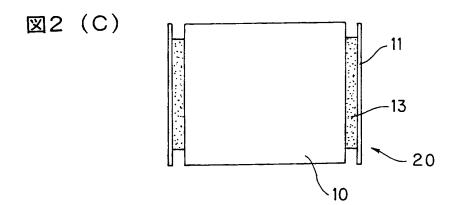
図1 (C)

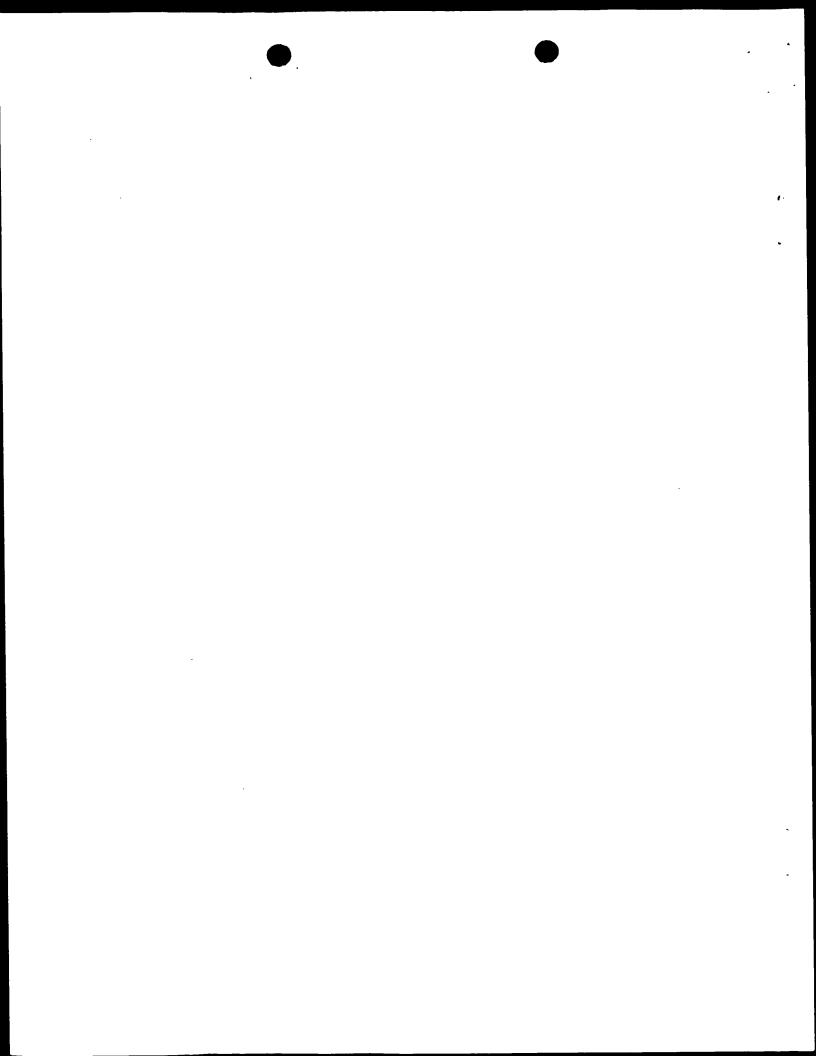


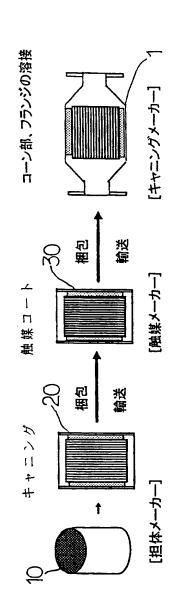












დ <u>|</u>||

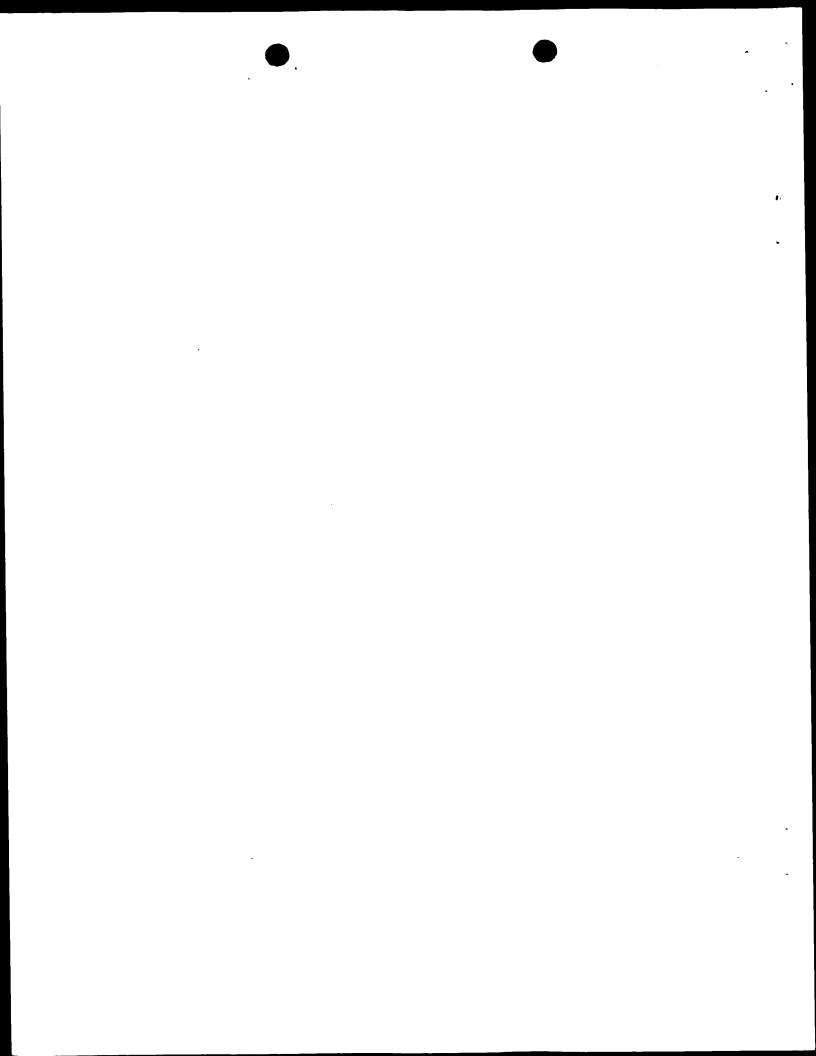
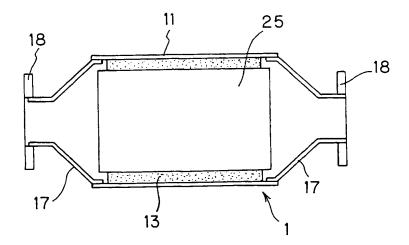
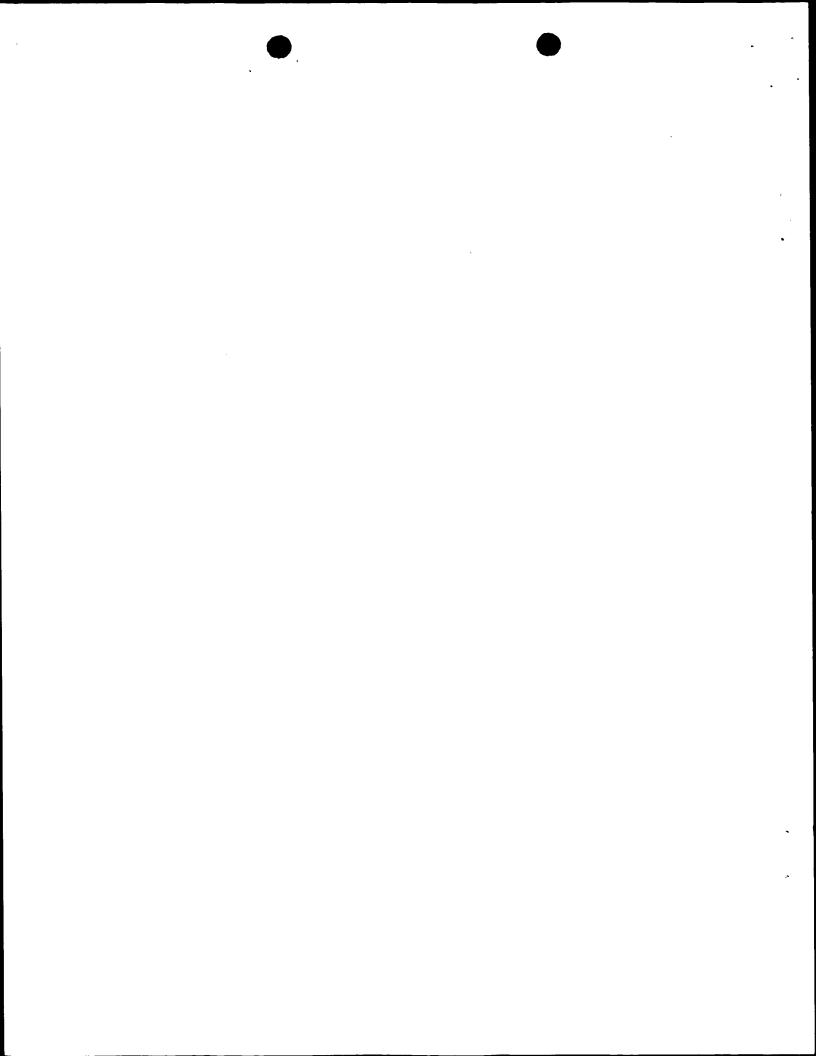
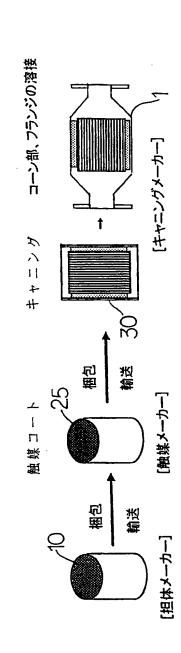


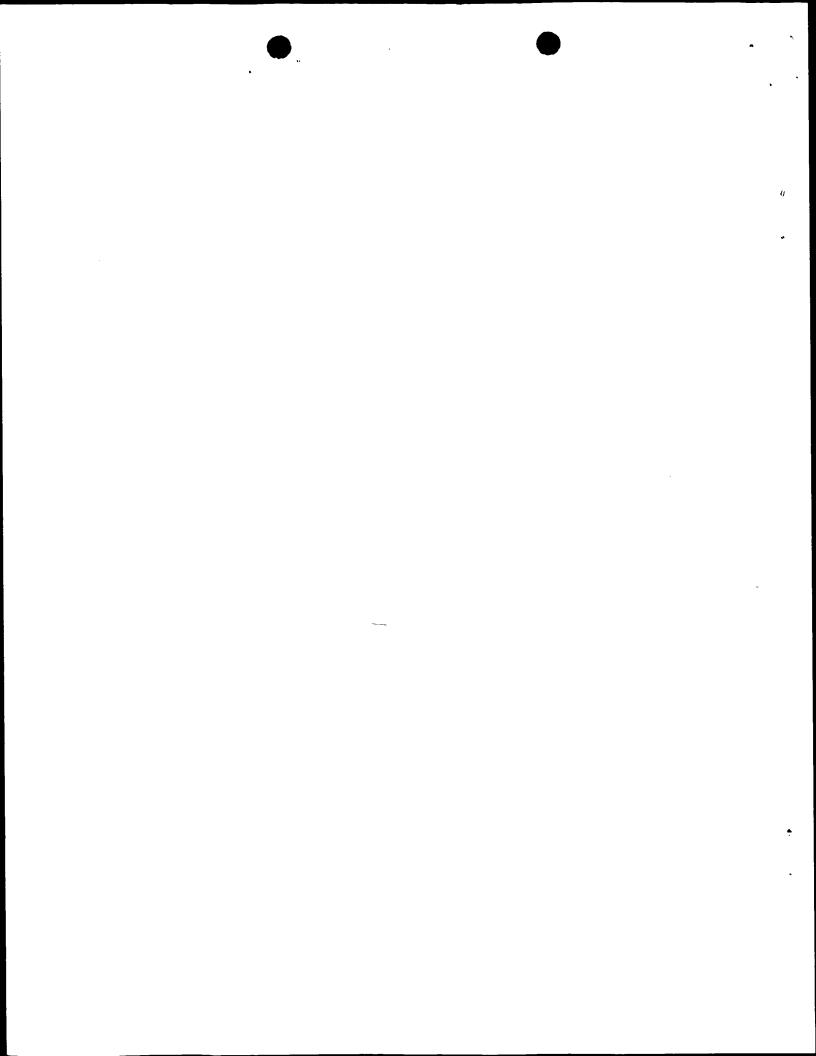
図4







区 5



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/03420

A. CLASS Int.	SIFICATION OF SUBJECT MATTER C1 ⁷ F01N3/28, B01J35/04				
	o International Patent Classification (IPC) or to both nat	tional classification and IPC			
	ocumentation searched (classification system followed l	by classification symbols)			
Int.	Cl ⁷ F01N3/28, B01J35/04	•			
	ion searched other than minimum documentation to the				
Koka	uyo Shinan Koho 1926-1996 i Jitsuyo Shinan Koho 1971-2000		oho 1996-2000 oho 1994-2000		
Electronic d	ata base consulted during the international search (name				
	·	. ,	ŕ		
C. DOCU	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT				
Category*	Citation of document, with indication, where ap	propriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.		
A	JP, 9-155202, A (Nippon Steel C		1-7		
	17 June, 1997 (17.06.97), page 3, Column 4, lines 16 to 3	-			
	page 3, Corumn 4, Tines 16 to 3	oo (ramily: none)			
A	1 . ,				
	09 December, 1997 (09.12.97), page 2, Column 1, line 29 to Column 2, line 38				
	(Family: none)				
A	JP, 9-299811, A (NGK INSULATORS	5, LTD.),	2,3		
	25 November, 1997 (25.11.97), page 3, Column 4, lines 7 to 16	5			
	& EP, 807466, A2 & US, 5895				
	& CA, 2205682, A				
A	JP, 9-317451, A (HINO MOTORS, I 09 December, 1997 (09.12.97),	TD.),	2,3		
	page 3, Column 3, line 31 to Co	olumn 4, line 1			
	(Family: none)				
A	JP, 7-766, A (NGK INSULATORS, I	TD.),	2,3		
	06 January, 1995 (06.01.95),				
	r documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.			
"A" docum	l categories of cited documents: ent defining the general state of the art which is not	"T" later document published after the inte priority date and not in conflict with the	ne application but cited to		
"E" earlier	red to be of particular relevance document but published on or after the international filing	"X" understand the principle or theory und document of particular relevance; the	claimed invention cannot be		
	date considered novel or cannot be considered to involve an inventiful document which may throw doubts on priority claim(s) or which is step when the document is taken alone				
special	cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot considered to involve an inventive step when the document is				
means	"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art				
	ent published prior to the international filing date but later e priority date claimed	"&" document member of the same patent	family		
	actual completion of the international search	Date of mailing of the international sear			
22 4	August, 2000 (22.08.00)	05 September, 2000	(05.09.00)		
Name and n	nailing address of the ISA/	Authorized officer			
	nese Patent Office				
Facsimile N	o.	Telephone No.			

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/03420

ategory*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
	page 3, Column 4, line 41 to page 4, Column 5, line 17 & EP, 622530, A1 & US, 5455012, A & CA, 2119848, A	
A	US, 4093423, A (Joachim Neumann), 06 June, 1978 (06.06.78), Fig.3 & DE, 2319663, A & JP, 58-7806, B2	4
A	EP, 859133, A1 (CORNING INCORPORATED), 19 August, 1998 (19.08.98), FIG.1A, FIG.1B & JP, 10-339132, A & TW, 358142, A & KR, 98071299, A	5

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP00/03420

A. 発明の Int. Cl'	属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) F01N3/28, B01J35/04		
B. 調査を	行った分野		
調査を行った: Int. Cl'	最小限資料(国際特許分類(IPC)) F01N3/28, B01J35/04		
日本国 実	外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 注用新案公報 1926-1996		
日本国公	(開実用新案公報 1971-2000 (別書) 1996-2000		
日本国 美日本国 登	川利条登録公報 1996-2000経録実用新案公報 1994-2000		
	用した電子データベース(データベースの名称	 、調査に使用した用語)	
C. 関連する	 ると認められる文献		
引用文献の			関連する
カテゴリー*	3777人間で 次し 前の間がが関連する		請求の範囲の番号
Α	JP, 9-155202, A (新日	本製鐵株式会社), 1 7. 6	1 - 7
	月・1997(17.06.97)。	第3頁第4欄第16行~第36	
i	行 (ファミリーなし)		
A	IP 9-317455 A (2)	~`\# - *^#\\	
1.	JP, 9-317455, A (イビ 1997 (09. 12. 97) 第2	アン休式会社)、9.12月、	1 - 7
i	8行 (ファミリーなし)	只免1 懶弟 Z 9 们 ~ 弗 Z 懶弟 3	
A	JP, 9-299811, A (日本	碍子株式会社),25.11	2, 3
	月. 1997 (25. 11. 97)	第3頁第4欄第7行~第16行	
X C欄の続き	きにも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。
* 引用文献の		の日の後に公表された文献	
「A」特に関連 もの	重のある文献ではなく、一般的技術水準を示す	「T」国際出願日又は優先日後に公表さ	れた文献であって
	頁日前の出願または特許であるが、国際出願日	て出願と矛盾するものではなく、	発明の原理又は理
以後に公	☆表されたもの	論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当	診で動のみで発明
「L」優先権主	E張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 は他の特別な理由を確立するために引用する	の新規性又は進歩性がないと考え	られるもの
文献(理	理由を付す)	「Y」特に関連のある文献であって、当	6該文献と他の1以
「〇」口頭によ	る開示、使用、展示等に言及する文献	上の文献との、当業者にとって自 よって進歩性がないと考えられる	明でめる組合せにし
「P」国際出象 —————	負目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	「&」同一パテントファミリー文献	. 0
国際調査を完了		国際調査報告の発送日	
	22.08.00	05.09	3.00
国際調査機関の	0名称及びあて先	特許庁審査官 (権限のある職員)	3T 9523
	特許庁(ISA/JP)	鈴木 貴雄	31 9523
	『便番号100-8915 『千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	rh (t)
			内線 3393

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP00/03420

C(続き).	関連すると認められる文献	
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
	&EP, 807466, A2&US, 5895700, A&CA, 2205682, A	
A	JP, 9-317451, A (日野自動車工業株式会社), 9. 1 2月. 1997 (09. 12. 97) 第3頁第3欄第31行~第4 欄第1行 (ファミリーなし)	2, 3
A	JP, 7-766, A (日本碍子株式会社), 6. 1月. 1995 (06. 01. 95) 第3頁第4欄第41行~第4頁第5欄第17行&EP, 622530, A1&US, 5455012, A&CA, 2119848, A	2, 3
A	US, 4093423, A (Joachim Neumann) June 6,1978 (0 6.06.78) Fig.3 &DE, 2319663, A&JP, 58 -7806, B2	4
A	EP, 859133, A1 (CORNING INCORPORATED) 19.08.1998 (19.08.98) FIG. 1A, FIG. 1B & JP, 10-339132, A & TW, 358142, A&KR, 98071299, A	5

発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int. Cl' F01N3/28, B01J35/04 B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC)) Int. Cl⁷ F01N3/28, B01J35/04 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国 実用新案公報 1926-1996 日本国 公開実用新案公報 1971-2000 日本国 実用新案登録公報 1996-2000 日本国 登録実用新案公報 1994-2000 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) C. 関連すると認められる文献 引用文献の 関連する カテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 JP, 9-155202, A (新日本製鐵株式会社), 17.6 Α 1 - 7月. 1997 (17. 06. 97) 第3頁第4欄第16行~第36 行(ファミリーなし) Α JP, 9-317455, A (イビデン株式会社), 9. 12月. 1 - 71997 (09.12.97) 第2頁第1欄第29行~第2欄第3 8行(ファミリーなし) JP, 9-299811, A (日本碍子株式会社), 25.11 Α 2, 3 月. 1997 (25. 11. 97) 第3頁第4欄第7行~第16行 区欄の続きにも文献が列挙されている。 │ │ パテントファミリーに関する別紙を参照。 * 引用文献のカテゴリー の日の後に公表された文献 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって もの て出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 論の理解のために引用するもの 以後に公表されたもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 国際調査報告の発送日 22.08.00 05.09.00 国際調査機関の名称及びあて先 特許庁審査官(権限のある職員) 3 T 9523 日本国特許庁(ISA/JP) 鈴木 貴雄 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3393

		. *
	,	
	•	
		•
	·	٠
		•
		•
		•
·		
	•	
	•	
	•	
	·	

		0/03420
C (続き).	関連すると認められる文献	
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
	&EP, 807466, A2&US, 5895700, A&CA, 2205682, A	TOPHY VIEW
A	JP, 9-317451, A (日野自動車工業株式会社), 9. 1 2月. 1997 (09. 12. 97) 第3頁第3欄第31行~第4 欄第1行 (ファミリーなし)	2, 3
A	JP, 7-766, A (日本碍子株式会社), 6.1月.1995 (06.01.95) 第3頁第4欄第41行~第4頁第5欄第17行&EP, 622530, A1&US, 5455012, A&CA, 2119848, A	2, 3
A	US, 4093423, A (Joachim Neumann) June 6,1978 (0 6.06.78) Fig.3 & DE, 2319663, A&JP, 58 -7806, B2	4
. A	EP, 859133, A1 (CORNING INCORPORATED) 19.08.1998 (19.08.98) FIG. 1A, FIG. 1B & JP, 10-339132, A & TW, 358142, A&KR, 98071299, A	5

				٠, ٤,	•
	•	•	•		•
					•
•					
		•			
	•				
•			·		
					•
					•

特許協力条約に基づく国際出願顧書 原本(出願用) - 印刷日時 2000年05月26日 (26.05.2000) 金曜日 16時18分51秒

0	受理官庁記入欄	
0-1	国際出願番号.	
0-2	国際出願日	/DCT\
	一一一一	/ FUI
		2 9, 5, '00)
0-3	(受付印)	
		受領印
0-4	様式-PCT/RO/101	
	この特許協力条約に基づく	
0-4-1	国際出願願書は、	
0-4-1	右記によって作成された。	PCT-EASY Version 2.90
		(updated 10.05.2000)
0-5	申立て	
	出願人は、この国際出願が特許	
	協力条約に従って処理されるこ	
0-6	とを請求する。	
V U	出願人によって指定された	日本国特許庁 (RO/JP)
0-7	受理官庁 出願人又は代理人の書類記	
٠.	四願人又は代理人の書類記 号	WA-0528
I	発明の名称	
	70 71 47	キャニング構造体及び同構造体を使用した触媒コ
II	出願人	ンバータの製造方法
II-1	四願人 この欄に記載した者は	
11-2		出願人である (applicant only)
11 2	右の指定国についての出願人である。	米国を除くすべての指定国 (all designated
	-	States except US)
II-4ja	名称	日本碍子株式会社
II-4en	Name	NGK INSULATORS, LTD.
II-5ja	あて名:	467-8530 日本国
		愛知県 名古屋市
		環想区須田町2番56号
II-5en	Address:	
	11001 000.	2-56, Suda-cho, Mizuho-ku
		Nagoya-city, Aichi 467-8530
II-6		Japan
II-7	国籍(国名)	日本国 JP
	住所 (国名)	日本国 JP
II-8	電話番号	052-872-7726
11-9	ファクシミリ番号	052-872-7936

	- -	er en
·	,	
·		
		·
	·	

特許協力条約に基づく国際出願願書 原本 (出願用) - 印刷日時 2000年05月26日 (26.05.2000) 金曜日 16時18分51秒

III-1	その他の出願人又は発明者	
III-1-1	この個の田嶼人又は毎明石 この欄に記載した者は	UI FAS 1 72 72 96 PD 77 1- 7 /
	この個に記載した合は	出願人及び発明者である(applicant and
III-1 - 2	十つ地方国ン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	inventor)
111-1-2	右の指定国についての出願人で	米国のみ (US only)
III-1-4 ia	ある。 氏名(姓名)	
		山田 敏雄
TTT-1-540	Name (LAST, First)	YAMADA, Toshio
111-1-038	あて名:	467-8530 日本国
		愛知県 名古屋市
		瑞穂区須田町2番56号
TTT-1-5en	Address:	日本碍子株式会社内
111 1 5611	Address:	c/o NGK INSULATORS, LTD.
		2-56, Suda-cho, Mizuho-ku,
		Nagoya-city, Aichi 467-8530
		Japan
III-1-6	国籍(国名)	日本国 JP
111-1-7	住所(国名)	日本国 JP
111-2	その他の出願人又は発明者	
III-2-1	この欄に記載した者は	出願人及び発明者である(applicant and
	·	inventor)
111-2-2	右の指定国についての出願人で	米国のみ (US only)
TTT-2-4 is	ある。 氏名(姓名)	
		土方 俊彦
TTT-9-6:-	Name (LAST, First)	HIJIKATA, Toshihiko
111-Z-0Ja	あて名:	467-8530 日本国
		愛知県 名古屋市
		瑞穂区須田町2番56号
*** * -		日本碍子株式会社内
111-2-5en	Address:	c/o NGK INSULATORS, LTD.
		2-56, Suda-cho, Mizuho-ku,
		Nagoya-city, Aichi 467-8530
		Japan
111-2-6	国籍(国名)	日本国 JP
III-2-7	住所 (国名)	日本国 JP
IV-1	代理人又は共通の代表者、	
	通知のあて名	
	下記の者は国際機関において右記のごとく出願人のために行動	代理人(agent)
	記のことく山嶼人のために11動	
IV-1-1 ja	, う。 氏名(姓名)	渡邉 一平
IV-1-1 en	Name (LAST, First)	WATANABE, Kazuhira
IV-1-2ja	あて名:	111-0053 日本国
Ì		東京都 台東区
		浅草橋3丁目20番18号 第8菊星タワービル3階
IV-1-2en	Address:	
		3rd Fl. No. 8 Kikuboshi Tower Building, 20-18,
		Asakusabashi 3-chome
		Taito-ku, Tokyo 111-0053
IV-1-3	電話番号	Japan -
IV-1-4		03-5820-0535
	ファクシミリ番号	03-5820-0577

			r	. .		•
	•					
·		,				
			•			
				•		
					•	

特許協力条約に基づく国際出願願書 原本 (出願用) - 印刷日時 2000年05月26日 (26.05.2000) 金曜日 16時18分51秒

V	国の指定	1	
V-1	広域特許	FP. AT BE CHALL CY DE	DK ES FI FR GB GR IE IT
	(他の種類の保護又は取扱いを	LU MC NL PT SE	DK ES TI TK GD GK TE TI
	求める場合には括弧内に記載す		と特許協力条約の締約国
	る。)	である他の国	
V-2	国内特許	CA US	
	(他の種類の保護又は取扱いを	OA 00	
	求める場合には括弧内に記載す		
V-5	る。)		
V-5	指定の確認の宣言	Í	
	出願人は、上記の指定に加えて 、規則4.9(b)の規定に基づき、		
	特許協力条約のもとで認められ		
	る他の全ての国の指定を行う。		
	ただし、V-6欄に示した国の指		
	定を除く。出願人は、これらの追加される指定が確認を条件と		
	追加される指定が確認を条件と		
	していること、並びに優先日から15月が経過する前にその確認		
	がなされない指定は、この期間		
	の経過時に、出願人によって取		
	り下げられたものとみなされる		
V-6	ことを宣言する。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
V-6 VI-1	指定の確認から除かれる国	なし (NONE)	
V1-1	先の国内出願に基づく優先 権主張		
VI-1-1	先の出願日	1999年05月31日 (31.05.	1999)
VI-1-2	先の出願番号	平成11年特許願第151836	
VI-1-3	国名	日本国 JP	
VI-2	優先権証明書送付の請求		
	上記の先の出願のうち、右記の	VI-1	
	番号のものについては、出願書類の認証謄本を作成し国際事務		
	局へ送付することを、受理官庁		
	局へ送付することを、受理官庁 に対して請求している。	·	
VII-1	特定された国際調査機関(IS	日本国特許庁 (ISA/JP)	
VIII	A)		
VIII-1	照合欄	用紙の枚数	添付された電子データ
VIII-2	明細書	4	_
VIII-3		8	_
VIII 3	請求の範囲	1	<u> </u>
VIII-4 VIII-5	要約	1	wa-0528. txt
	図面	5	
VIII-7	合計	19	
VIII-8	添付書類	添付	添付された電子データ
	手数料計算用紙	✓	
VIII-9	別個の記名押印された委任状		
VIII-16	PCT-EASYディスク		フレキシブルディスク
VIII-17	その他	納付する手数料に相当す	-
		る特許印紙を貼付した書	
		面	
VIII-17	その他	国際事務局の口座への振	-
	<u>l</u>	込を証明する書面	
			·

		21	
		•	
*			
•			•
	,		
			÷
•			
		•	

•

特許協力条約に基づく国際出願願書 原本 (出願用) - 印刷日時 2000年05月26日 (26.05.2000) 金曜日 16時18分51秒

VIII-18	一一一一			
A111-19	要約書とともに提示する図	1		
	の番号			
VIII-19	国際出願の使用言語名:	日本語(Japanese)		
IX-1	提出者の記名押印			
		•		
IX-1-1	氏名(姓名)	渡邉 一平		
	1-4-11 ()±-11)	/汉.		
		受理官庁記入欄		
		文在自7 配入1两		
10-1	国際出願として提出された			
	書類の実際の受理の日	·		
10-2	図面:			
10-2-1	受理された			
10-2-2	大田岡本ギキッ			
10-3	不足図面がある			
10-3	国際出願として提出された			
	青規を備元する青規又は凶			
	書類を補完する書類又は図面であってその後期間内に提出されたものの実際の受			
	焼田されたものの美院の安			
10-4	理の日(訂正日)			
10-4	特許協力条約第11条(2)に基	·		
	づく必要な補完の期間内の			
10-5	受理の日			
10-5	出願人により特定された国	ISA/JP		
10-6	際調査機関	, <u> </u>		
10-6	調査手数料未払いにつき、			
	国際調査機関に調査用写し			
	を送付していない			
		国際事務局記入欄		
11-1	記録原本の受理の日			

					~. ·	•
						•
				•		
				•		
	•					
			•			
			·			
				•		
				•		
						·
						•
			•			
	·					•
			*			

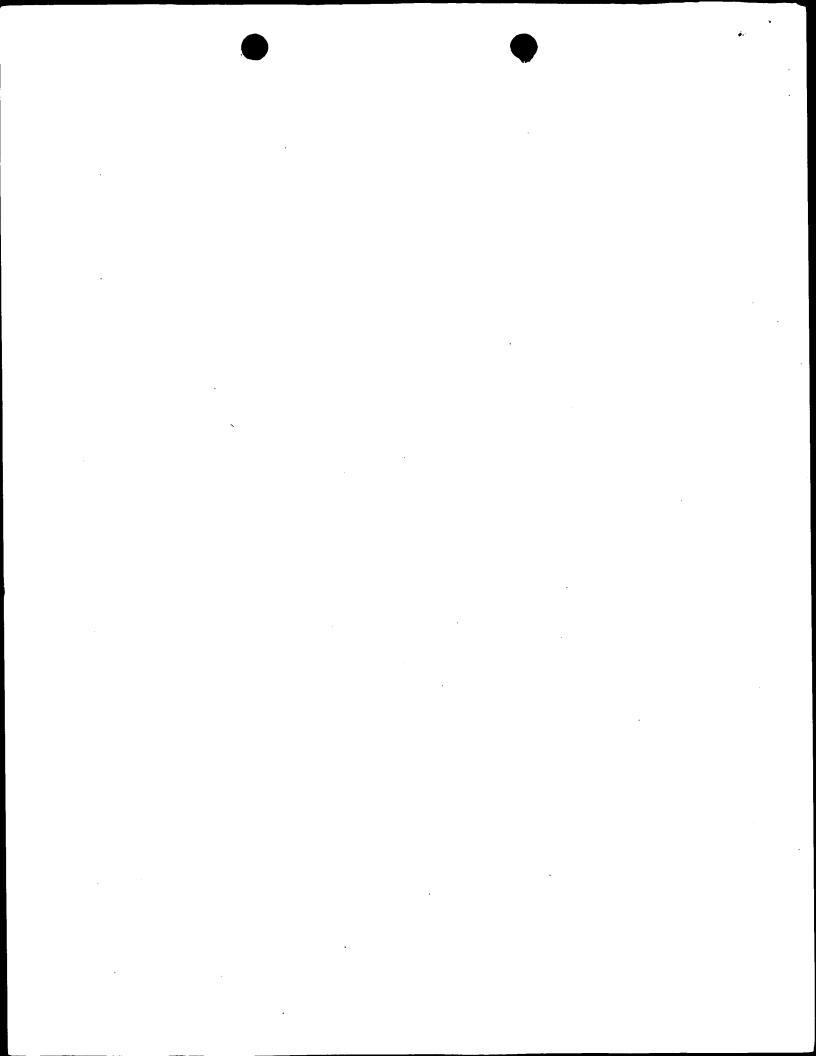


PCT.

国際調査報告

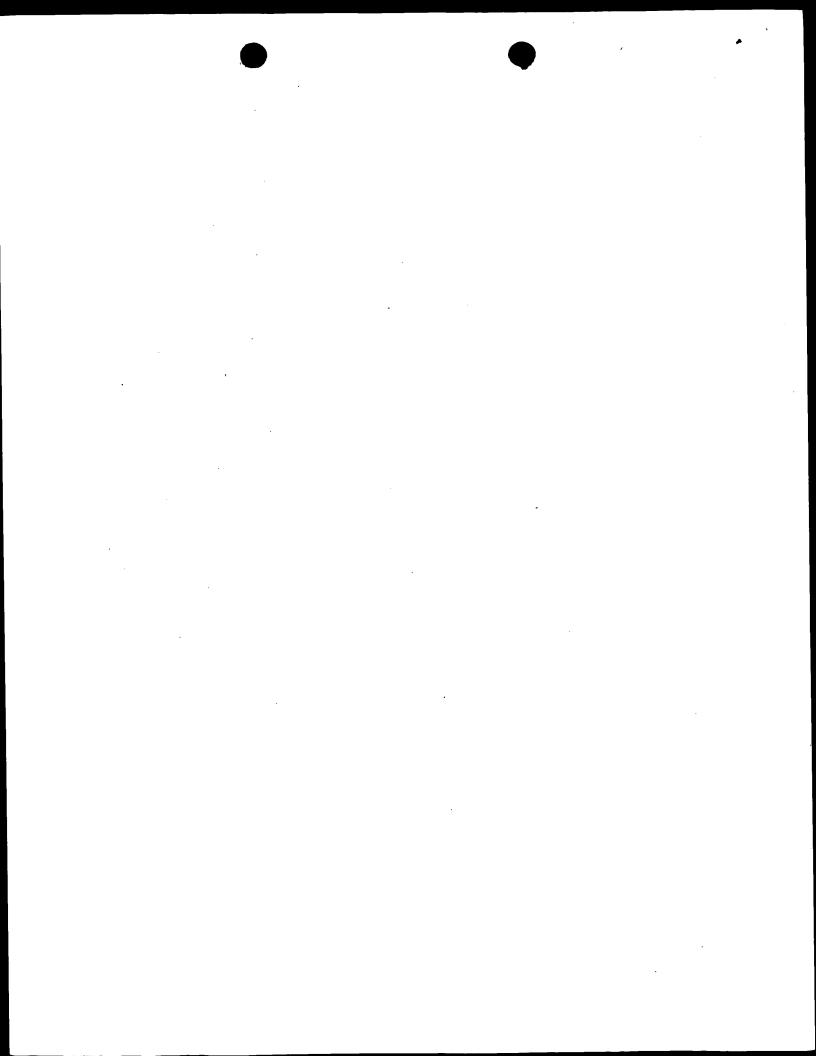
(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 WA-0528	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。						
国際出願番号 PCT/JP00/03420	国際出願日 (日.月.年) 29.05.00 優 先日 (日.月.年) 31.05.99						
出願人 (氏名又は名称) 日本碍子株式会社							
国際調査機関が作成したこの国際調査この写しは国際事務局にも送付される	国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。						
この国際調査報告は、全部で3	ページである。						
□ この調査報告に引用された先行技	この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。						
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 区 この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。							
b. この国際出願は、ヌクレオチド この国際出願に含まれる書詞	b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。 □ この国際出願に含まれる書面による配列表						
この国際出願と共に提出され	1たフレキシブルディスクによる配列表						
出願後に、この国際調査機関	関に提出された書面による配列表						
l —	関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表						
□ 出願後に提出した書面による 書の提出があった。	5配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述						
<u> </u>	こ配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述						
2. 請求の範囲の一部の調査が	できない(第1欄参照)。						
3. 一発明の単一性が欠如している(第Ⅱ欄参照)。							
4.発明の名称は 🛛 出願	人が提出したものを承認する。						
□ 次に	示すように国際調査機関が作成した。						
5. 要約は 🗓 出願	人が提出したものを承認する。						
国際	欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ 際調査機関に意見を提出することができる。						
6. 要約書とともに公表される図は、 第1 図とする。 X 出願。	したとおりである。 □ なし						
□出願	人は図を示さなかった。						
□ 本図ℓ	は発明の特徴を一層よく表している。						





	国際調査報告	国際出願番号 PCT/JPC	0/03420	
A. 発明の Int. Cl ⁷	0属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) F01N3/28, B01J35/04			
B. 調査を 調査を行った	行った分野 最小限資料(国際特許分類 (IPC))	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	•	
Int. Cl	- 成小成員科(国際特許分類(IPC)) F01N3/28, B01J35/04			
		× .		
日本国 多	外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 実用新案公報 1926-1996		,	
	公開実用新案公報 1971-2000 長用新案登録公報 1996-2000			
日本国 强	登録実用新案公報 1994-2000		·	
国際調査で使	用した電子データベース(データベースの名称	下、調査に使用した用語)		
	ると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	21田文献夕 及び一切の笠下が即注土	l de la companya de l	関連する	
A	1777 A 177		請求の範囲の番号	
, A	JP, 9-155202, A(新日 月. 1997(17. 06. 97) 行(ファミリーなし)	平聚國株式会社), 17.6 第3頁第4欄第16行~第36	1-7	
. A	JP, 9-317455, A (イビ 1997 (09. 12. 97) 第2 8行 (ファミリーなし)	デン株式会社),9.12月. 頁第1欄第29行〜第2欄第3	1 – 7	
A	JP, 9-299811, A (日本 月. 1997 (25. 11. 97)	碍子株式会社),25.11 第3頁第4欄第7行~第16行	2, 3	
X C欄の続き	きにも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。	
もの 「E」国際出願 以後に位 「L」優先権主 文 文 の 「O」口頭によ	のカテゴリー 車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 負日前の出願または特許であるが、国際出願日 込表されたもの 三張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 は他の特別な理由を確立するために引用する 理由を付す) こる開示、使用、展示等に言及する文献 負日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって て出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理 論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了	てした日 22.08.00	国際調査報告の発送日	9.00	
日本国 興)名称及びあて先]特許庁(ISA/JP) 3便番号100-8915 3千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 鈴木 貴雄 電話番号 03-3581-1101	内線 3393	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	SA/210(第2ページ)(1998年7)			





	国際調査報告 国際出願番号 PCT/JPO	0/03420
C (続き) 引用文献の	関連すると認められる文献	
カテゴリー	* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
	&EP, 807466, A2&US, 5895700, A&CA, 2205682, A	THE TOTAL OF THE T
A	JP, 9-317451, A (日野自動車工業株式会社), 9. 1 2月. 1997 (09. 12. 97)第3頁第3欄第31行〜第4 欄第1行 (ファミリーなし)	2, 3
A	JP, 7-766, A (日本碍子株式会社), 6. 1月. 1995 (06. 01. 95) 第3頁第4欄第41行~第4頁第5欄第17行&EP, 622530, A1&US, 5455012, A&CA, 2119848, A	2, 3
, A	US, 4093423, A (Joachim Neumann) June 6,1978 (0 6.06.78) Fig.3 &DE, 2319663, A&JP, 58 -7806, B2	4
A	EP, 859133, A1 (CORNING INCORPORATED) 19.08.1998 (1 9.08.98) FIG. 1A, FIG. 1B & JP, 10-339132, A & TW, 358142, A&KR, 98071299, A	5
·		
	<u> </u>	_

